

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福山通運(株)伊勢原支店	階数	地上1F
建設地	伊勢原市見附島字長津田300-1,外	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	20人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年3月11日
敷地面積	18,716 m ²	作成者	五洋建設(株)
建築面積	5,505 m ²	確認日	2013年3月11日
延床面積	5,505 m ²	確認者	五洋建設(株)

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 86%

上記+ 以外の: 86%

上記+: 86%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境 光・視環境 熱環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境 まちなみ 地域性

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	○敷地全体において環境負荷の低減に配慮している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
○化学汚染物質を発生する資材を使用しない様考慮している。	○設備機器の更新性の向上に努めている。	○建物利用者の設計段階からの参加を実施し、施設の使用効率の向上に努めている。 ○敷地内周囲に植栽を施し、敷地周辺環境との調和に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
○高効率照明としてLED照明器具を採用している。	○躯体と仕上げを容易に分離できるよう考慮している。 ○環境を悪化させる物質を発生する建材は極力使用しない様配慮している。	○宅内へ十分な駐車場と、荷捌きエリアを確保する事により交通インフラへの負担の軽減に努めている。 ○分別収集の際に使用した容器等によるゴミの量の把握、及び使い捨て製品を極力使用しない様徹底する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される